

教育目標アンケート 生徒・教職員・保護者(一部抜粋)

No.	教育目標 案	その理由
1 教員	自ら判断し、実践できる人になろう 強い心と体を育て、努力できる人になろう	判断力と実践力が児童・生徒の将来に必要であるから。 努力の継続がこれからの社会生活に必要であるから。
2 児童	思いやりを持って自分で考えて行動する子	思いやりを持つことが大事だし、自分で行動することも大切だから。
3 児童	正しい判断をし行動できる生徒 心身ともに強い心、身体を持つ生徒	正しい判断ができない子どもが多く、周囲に迷惑をかける子どももいるので。 心も体も強くあることで、周りに振り回されずに的確な判断ができると思う。
4 児童	豊かな心を持ち正しい判断をして行動する思いやりのある生徒	勉強などもやらなくてはいけないけれど、何より優しい心を持って生活することが必要だと思ったから。誰にでも優しい心を持って楽しい学校生活を送りたいからです。
5 生徒	たくましい体と豊かな心を持ち、自己の可能性を拓く	中学校の教育目標と小学校の教育目標をあわせた。
6 生徒	ともに学び、鍛え、助け合い、過ごしやすい学校を創る新中生	小学1年生から中学3年生と世代がすごく開いているが、やることは同じだから一人ではなく、みんなが協力しておこなえば、1つになっていいチームになると思ったから。また、生徒会長が言っていた「日本一過ごしやすい学校」のように6～15歳と幅広いので1人でも多く、楽しく、過ごしやすい学校を目指したいと思ったから。
7 生徒	考え・学び・未来を育む心豊かな小中校	2つの共通のところを並べました。
8 生徒	思いやりの心を大切に自ら学ぶ力を身につける	小学生も中学生も思いやりの心は大切だし自分から学ぶことは大切だと思ったから。
9 生徒	自ら課題に取り組み思いやりのある生徒	人の気持ちを考えたり自分から課題に取り組むのが大切だと思うからです。
10 生徒	自ら学び、考える生徒	学習に力を入れ、自分の将来の可能性を広げられるために。
11 生徒	人を思いやり、自ら学び、正しく判断し行動しよう	人を思いやったり正しく判断することは大切だから。
12 生徒	知識を深め合い、いつでも全力で立ち向かう 新鶴小・中生	どんなときも学び、くじけてもまた立ち上がり、大きな壁にも挑戦して行けるようにしたいから！！
13 生徒	豊かな心を持ち、自ら学び、体をきたえる新鶴生	そうなったらとてもいい学校になると思うから。
14 保護者	共生と友愛のこころと大切にする生徒(子)	友情を大切にし、学年関係なく思いやりを持って学校生活を送ってほしい。
15 保護者	進んで学ぶ子 学びあい ころ豊かで思いやりのある生徒	小中の交流の中での子ども同士の刺激(憧れ)や思いやる心の他、小学校で親しんだ先生方との交流、その他保護者や地域の学校活動への参加など、多様な交流をとおして子ども達の安心や心の育ちとなれば良いと思います。学びの意欲をどう育てるのか、幼児期からの物事への意欲からの連続性、先生方からの一方通行的な教えではなく、子どもの気づき、間違い、発言を大いに活用しながら、子ども一人一人が自信を持って学校生活を過ごしてほしいです。授業、部活、生活の中で子どもの自己肯定感を高め、自己開拓へとつなげてほしいです。
16 保護者	学びあい、認め合い、こころ豊かにたくましく明るい未来を切り拓く	自分から学び、教えあえる子ども いろいろな考え方を認め合える子ども 思いやりがあり、心身ともにたくましい子ども 目標を見つけ努力する子ども
17 保護者	自ら学び、考え、豊かなこころを育む	学校生活をとおして、自分でよく考え、責任ある行動のとれる子になってほしい。
18 保護者	未来を創る心豊かでたくましい子どもの育成	思いやりの心を持って、人の嫌がることをしない、優しい子どもになってほしい。
19 保護者	優しく強い心を持ち、向上心のある子どもを育てる。	周りへの感謝を忘れず、優しく思いやりを持って接することができる。 メディアも盛んになったのもあり、ストレスも多く、メンタルも弱くなっている。 現代の子たちに、もっと強い心と向上心を持ってもらいたいと思います。 性格もあるのですが、あまりネガティブになっても良いことはないので、なるべくポジティブに捉えられることが増えるといいと思います。
20 保護者	豊かなこころと自主性のある子ども	物事についての善悪を自分で考えて行動できる児童や生徒になってほしい。